

いのちと暮らしを優先し、安心して住み続けられる取手市へ

2026年度予算に対する重点要望

日本共産党取手市議団
同 取手市委員会

一、子どもたちの豊かな成長を保障する学校教育・子育て環境の整備へ

少人数学級の完全実施へ国・県と自治体の取り組みを強めること。また子育てにおける経済的負担軽減を図り、安心できる子育て環境を整備すること

- 1) 取手市内小中学校のすべてのクラスで少人数学級の実施
- 2) 保育所・園、学校の給食費無償化
- 3) 正規保育士増員で安心できる保育体制を
- 4) 保育所・園の公私間格差の是正、処遇改善を図るとともに保育士配置は市基準に統一
- 5) 学校・公共施設等すべてのトイレに生理用品の設置
- 6) 旧取手一中、旧戸頭西小の体育館のエアコン設置を速やかに進めること
- 7) 公民館の耐震化、改修の年次計画を策定し進めること

二、いのちと健康を守る医療・福祉の制度拡充を図ること

市民の命と健康を守る地方自治体の本旨に責任を持ち、医療・福祉の拡充を図ること

- 1) 国保基金の活用で国保加入者の所得割・均等割減免で、国保税の引き下げを図ること
- 2) 後期高齢者の保険料の引下げを図ること
- 3) 介護保険事業の保険料・利用料の引下げ、ケア労働者の処遇改善をはかり安心できる介護制度とすること
- 4) 取手市に保健所の増設を求め、地域保健事業の充実
- 5) 18歳までの医療費完全無料化
- 6) 加齢性難聴者の補聴器購入に公的補助の創設

三、災害に強い街づくり

大型台風や集中豪雨・大地震などから住民の生命と財産を守る災害に強い街づくりを進めること

- 1) 内水氾濫の回避へ、排水樋管のポンプ場の増設と雨水排水整備促進（排水溝のつまり、汚泥の浚渫）遊水地（貯水池）設置
- 2) 道路・雨水溝の蓋掛けや排水等生活基盤整備の促進
- 3) 防災ラジオの全世帯への普及促進、防災無線の改善と拡充
- 4) 避難所及び避難場所に防災井戸の設置等整備拡充
- 5) 堤防強化工事の促進と河川の定期的な浚渫を国、県に求めること

四、 安心して住み続けられる街づくり

- 1) 取手駅東口構内の全ホームへのバリアフリー整備
- 2) 公共施設のバリアフリー整備
- 3) 誰もが使いやすい地域公共交通の充実
- 4) 市営住宅の拡充・家賃補助制度の創設
- 5) イノシシを国・県とも連携し駆除すること

五、 持続可能な商業・工業、農業を重視した産業政策へ転換を図ること

大規模事業者頼みの産業政策を改め、地場商工農等地元産業重視の産業政策への転換、農業軽視の国策ではなく、家族農業を守り、続けられる農業政策の確立を図ること。

- 1) 続けられる農業へ後継者・新規就農者支援、農作物の販路拡大、所得補償・価格保障など抜本的な支援制度の確立 ローカルフード保全施策の実施
- 2) 農地を守り食料（米、野菜）の自給率向上、安心・安定した食料の確保で食料危機回避に貢献する農業政策と地産地消に取り組む
- 3) 「中小企業・小規模企業振興基本条例」を生かし地元商店（街）の継続・再生に向け、小規模事業者等の産業活動支援を具体化・推進すること。

六、 取手二大開発（取手駅西口・桑原）は、見直すこと

二大開発への過大な税金投入を改め、市民福祉向上のまちづくりへ転換を図ること。

- 1) 取手のまちづくりと農業・商業、防災に関するあり方と市財政に大きく影響を与えるものであり、地権者等関係者はもとより、市民への徹底した情報公開を行うこと。
- 2) 取手駅西口「A 街区再開発」事業への「図書館等複合公共施設整備計画」を中止し、都市計画決定者として再開発事業の見直しを準備組合に求めること。
- 3) 「桑原開発」は、地権者に寄り添い、営農希望者と土地利用の転換希望者の両立を図ること。合わせて、国待ちではなく市内商業や農業政策を改め地場産業再生への政策を進めること。
- 4) 水害リスク拡大、防災まちづくりの観点からの検討・見直しを行うこと。

以上、六大重点要望の他、次ページより、各部ごとに事項別に要望します。